



「介護予防訪問介護に関する実態調査」

2011年12月1日

日本生活協同組合連合会

生協が実施しているサービスは、介護予防訪問介護サービスの趣旨に沿って行われており、自立支援に効果があることがわかりました。

【調査作業概略】

■目的：生協の介護予防訪問介護サービスで実際に提供しているサービスの内容の実態を明らかにするため、生協のサービス提供責任者にアンケートを行いました。

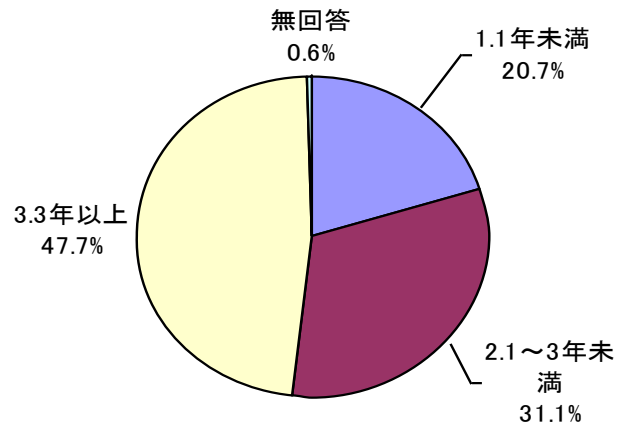
■調査データ：2011年9月1日～9月30日の調査期間で直近の1ヶ月提供データを対象

■調査生協：パルシステム東京、ちばコープ、コープかながわ、福井県民、コープあいち、コープこうべ、生協ひろしま、エフコープ、合計8生協

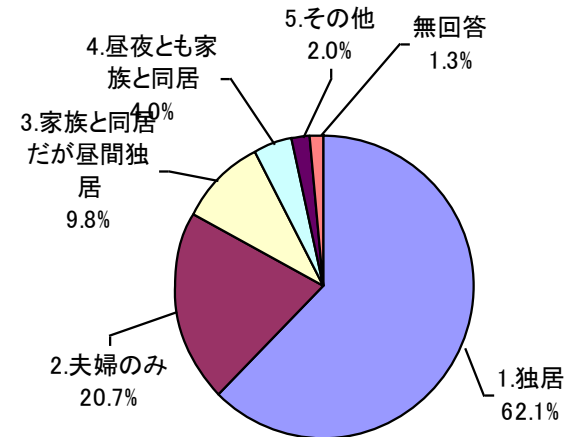
■回収数：2,036件

サービス利用期間、居住状況

105 予防訪問サービス利用期間



106 利用者の居住状況



- ・利用期間は、3年以上が約半数。1～3年が約30%。1年未満が約20%です。
- ・居住状況は、独居が約60%、ついで夫婦のみ（約20%）、日中独居（約10%）。
高齢者のみの世帯が約80%を占めています。

「介護予防訪問介護サービスの実態調査」結果

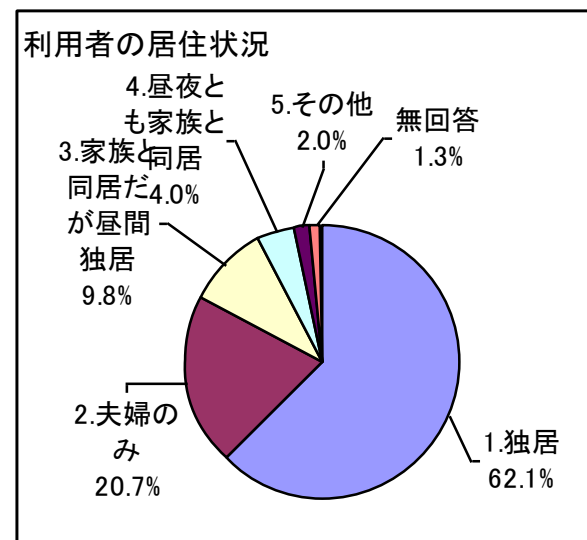
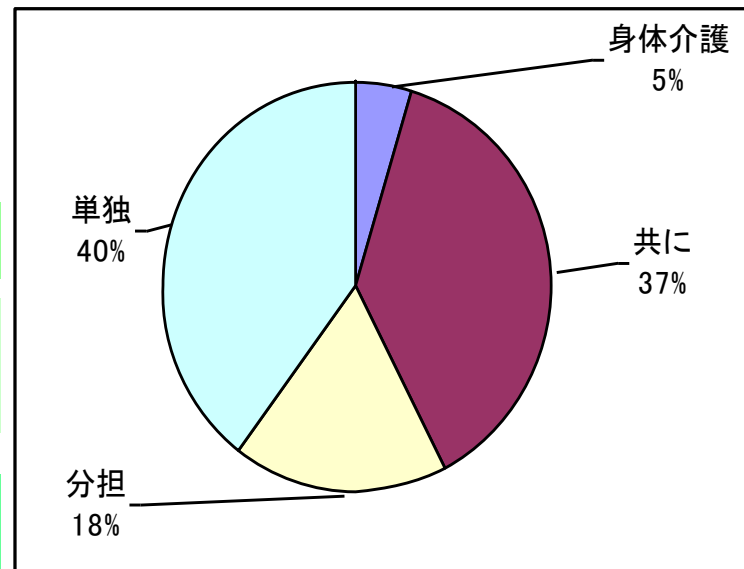
- 「利用者がヘルパーと共に実施」 37%
「身体介護（排泄・食事介護等）」 5%

合わせて、**身体介護に相当する割合は42%**

- 「ヘルパー単独で実施し利用者は別の作業を実施」も18%

サービスの60%が、利用者の状態を見ながら、利用者ができることは利用者が行うことで意欲を引き出し、生活の向上を図っていく「介護予防訪問介護」の目的に沿った内容となっています。

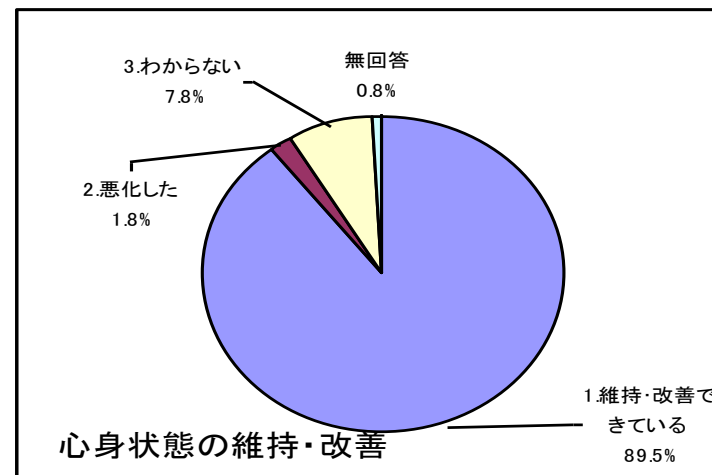
- 「ヘルパー単独で実施」するサービスも40%ありますが、居住状況は独居が約60～70%（日中独居含め）夫婦のみ（約20%）と高齢者のみの世帯が約80%ある中で、このサービスが本人の生活の支えとなり、後述の「衛生・環境整備」や「在宅（独居）可能」などの維持改善に役立っていると考えられます。



90%の利用者が心身状態が維持・改善

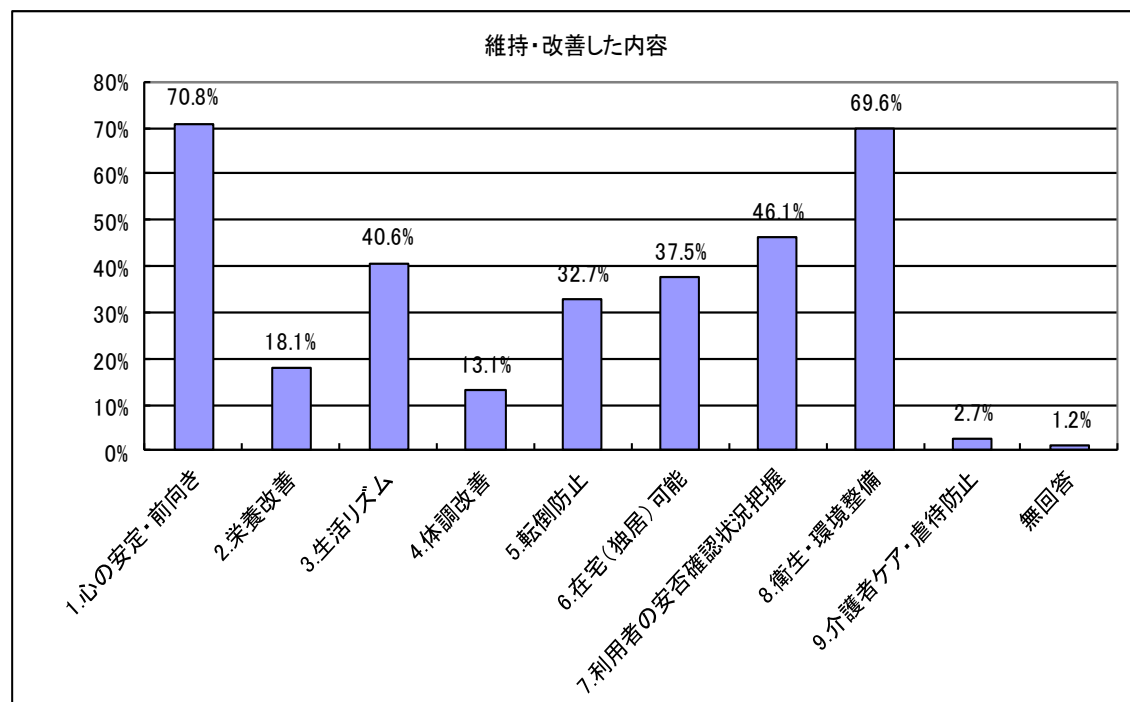
●サービス提供責任者は、上記のサービスを利用することで、ほぼ90%の利用者が心身状態が維持・改善したと回答。悪化は、わずか1.8%。

●この結果から、生協が実施しているサービスは、予防訪問介護サービスの趣旨に沿って行われており、自立支援に効果が出ていることがわかります。



●維持・改善内容は、「心の安定・前向き」と「衛生・環境整備」がともに約70%

●「利用者の安否確認状況把握」、「生活リズム」、「在宅（独居）可能」などがそれぞれ約40%。



実施しているサービス内容の詳細(複数回答)

